

風の道

かぜのみず

2021年 vol.27

腎臓内科の紹介

「腎臓の病気は治らない」とあきらめる人は多くいます。確かに失ってしまった腎臓の機能は取り戻せません。しかし「腎臓の病気の原因」それそれで、今からでもやらなければならないことがあります。放置していくはいけない病気として、腎臓内科に通院していただき、少しでもお役に立ちたいと思っています。

慢性腎臓病

以前は慢性腎不全という呼び方がありました。この呼び方は腎臓がかなり悪くなつてからの状態がイメージされます。一方、慢性腎臓病という呼び方は、慢性的な腎臓病を早期からケアしていくことを重視するために作られました。腎臓は早くから予防すると長持ちするからだけではありません。慢性腎臓病を早くからケアすることは、心臓や脳を守ることにもつながります。腎臓内科は腎臓のことだけではなく、心臓や脳、そのほかの臓器にも気を配って診療を行っています。また、長寿・高齢社会の中で、価値観の多様化がかなり進んでいます。そのため、できるだけ個々のニーズに合わせた診療を心がけています。

腎炎・ネフローゼ症候群

腎炎やネフローゼ症候群は動脈硬化や糖尿病と違い、いわゆる生活習慣病ではありません。放置すれば腎機能の悪化、すなわち透析治療が要る状態に近づいてしまいます。一方で、失いかけた腎臓機能を取り戻す、あるいは進行を食い止めるチャンスが残されている可能性があります。そのチャンスを活かすためには腎生検という検査が役立ちます。当院の腎臓内科は、特にこの点に力を入れて診療しています。尿検査の異常を指摘された方は、ぜひ一度受診していただきたいと思います。



腎硬化症・糖尿病性腎症

腎硬化症は高血圧症などに関連した動脈硬化から始まる腎臓の病気です。糖尿病性腎症は、糖尿病に関連した様々な変化によって(糖尿病による動脈硬化も含まれます)起きる腎臓の病気です。いずれも「元に戻すための治療」は現在の医学では望めません。しかし、進行を遅らせるため、またほかの臓器を守るために、早期からケアを行う意義が大きいといえます。長く付き合う病気として、お力になりたいと思っています。

血液透析・腹膜透析

残念ながら透析治療が必要な状態まで進んでしまった際には、ライフスタイルを含めた多くの条件に合わせて、腹膜透析、血液透析、移植医療のいずれかを選択していただいています。腹膜透析を選ばれた場合には、当院に通院して腹膜透析を受けていただくことができます。血液透析を選ばれた場合は、透析初期に入院での透析治療を行います。透析治療が安定して通院に移る段階から、お近くの透析クリニックをご紹介いたします。移植治療を選ばれた方には、移植が受けられる病院をご紹介いたします。また、普段は他のクリニックにて透析治療を受けておられる方が、外科手術などのために当院に入院してこられた際には、入院中に透析治療を受けていただけます。

東部医療センターは令和3年4月1日より、名古屋市立大学医学部附属東部医療センターとして新たな出発をいたしました。

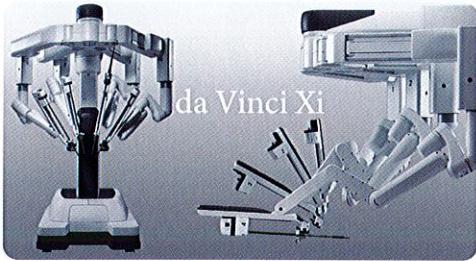
この大学病院化で名古屋市立大学病院・西部医療センターとともに優れた医療人の育成や先端的研究の発信を基盤とし地域に根差した高度先進医療の提供に一層努めて参ります。改めまして名古屋市立大学医学部附属東部医療センターをよろしくお願ひいたします。

泌尿器科の紹介

泌尿器科は、主におしつこの通り道（腎臓、尿管、膀胱、尿道）と男性生殖器（精巣、前立腺）の外科的治療を行う診療科です。

da Vinci Xiによるロボット支援下手術

当院泌尿器科では、2021年秋から待望のda Vinci Xi systemによるロボット支援下手術が稼働します。前立腺癌、腎癌、膀胱癌の手術に保険適応があり、当科では今後ほぼすべての手術をロボット支援下手術で行います。より低侵襲で緻密な医療の提供が可能となります。



内視鏡による尿路結石治療

尿路結石は男性の7人に1人、女性の15人に1人が経験する疾患です。痛みが非常に強く救急車で来院する患者さんが、たくさんおられます。当科では、痛みの強い患者さんや、自然に排石しない患者さんには、早期に積極的に内視鏡による破碎を行っています。コロナ流行期でしたが、2020年の治療件数は122件と愛知県でも1,2を争う症例数を誇っています。



ホルミウムレーザーによる前立腺肥大症手術

前立腺肥大症は、多くの患者さんが薬物でコントロールが可能です。しかし、一部の患者さんには外科的治療が必要な場合があります。当科ではホルミウムレーザーを使用し、出血なく、低侵襲な内視鏡治療を導入しております。

当科は、24時間365日すべての泌尿器科疾患に対応いたします。おしつこのお悩みありましたら、いつでも受診してください。

女性泌尿器科の紹介

2015年10月から女性泌尿器科専門外来を行っていましたが、この度2020年4月より診療科として新規開設いたしました。毎週木曜日に診察を行っています。より多くの患者さんの生活の質改善に努めてまいります。

主な対象疾患

①過活動膀胱

薬物でコントロール不能な難治性過活動膀胱の患者さんに対し、仙骨神経刺激療法をおこなっています。

②腹圧性尿失禁

1 女性理学療法士による個別骨盤底筋トレーニング

女性理学療法士（図1）による個別指導です。正しい方法で骨盤底筋を鍛えることにより、腹圧性尿失禁を高い確率で治癒することができます。

2 中部尿道スリング手術

骨盤底筋トレーニングで改善しない患者さんは、約15分の手術で腹圧性尿失禁を改善することができます。体にやさしく、手術翌日退院可能です。



図1

③骨盤臓器脱（膀胱瘤、子宫脱、直腸瘤）

手術希望のある患者さんは、年齢、手術歴、合併症問わず適切な方法で治療を行い、患者さんのQOL改善に尽力しています。

特に腹腔鏡下仙骨窓固定術（図2）は、日本国内でも初期より導入し、多数の施設からの見学受け入れ、出張手術も行っています。2021年秋からは、da Vinciによるロボット支援下手術も稼働します。ぜひ気軽にご相談ください。

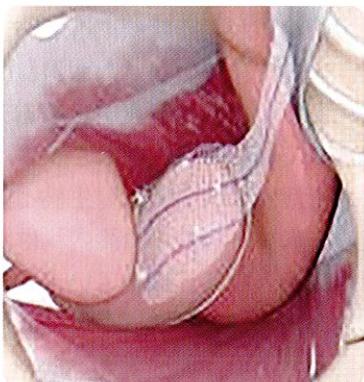


図2

④その他（膿瘍、間質性膀胱炎など）

薬剤科の紹介

薬剤科は薬剤師36名、薬剤補助7名で構成され、24時間365日、薬剤師が常駐しています。



業務内容が広がっています

医療の高度化に伴い、副作用や取り扱いに注意が必要な薬、併用注意の薬、腎機能・年齢・体格などの確認が必要な薬が増加しています。薬剤師の業務は政策的にもモノから人へ転換することが求められており、東部医療センターにおいても病棟薬剤業務の拡大、手術前の薬歴確認、入院時の服薬状況の確認、入院中に使われる薬の説明など、患者さんと直接お話しする機会が大きく増えました。多職種連携として薬剤師も栄養管理サポート・認知症ケアチーム・感染管理・抗菌薬適正使用支援チーム・褥瘡対策チーム・呼吸サポートチーム・緩和ケアチームなどのチーム医療に加わっています。

地域連携へ貢献します

当院は救急搬送の受け入れも多く、入院を契機に新たな薬物療法が始まる患者さんも多くいらっしゃいます。退院後の生活においても薬物治療が安全におこなわれるよう、患者さんやご家族はもちろん、地域の薬局への橋渡しも意識し、退院時のわかりやすい情報提供に努めています。

新型コロナウイルス感染症への対応にも加わっています

第二種感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症患者を早期から受け入れています。当初は治療法の模索が続き、様々な薬物治療のご要望がありました。臨床研究管理室と連携し治験の準備にも奔走しました。令和3年度は地域のワクチン供給役も務めています。必要とされる医療をタイムリーに提供し、社会を支える使命を感じながら日々業務にあたっています。

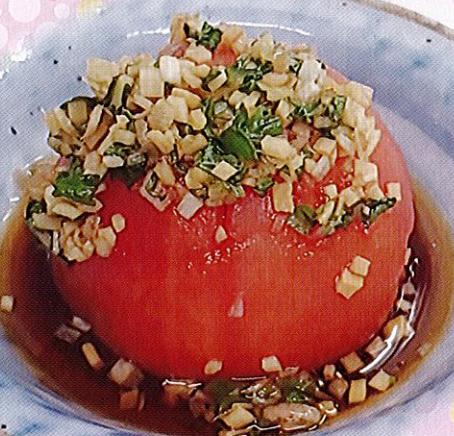
栄養管理科

ヘルシーレシピ

焼トマト 薬味たれかけ

栄養量
(1人分)
45Kcal

たんぱく質…1.5g
脂 質…0.1g
炭水化物…9.3g
塩 分…0.9g



材料 (2人分)

トマト 2個
大葉 2枚
生姜 ひとかけ
ミョウガ 1個
醤油 小さじ2
みりん 小さじ2

作り方

- トマトはヘタの反対側に十字に切れ目を入れる。
大葉、生姜、ミョウガは細かくきざむ。
- 器に醤油、みりん、刻んだ薬味を入れ電子レンジで1分程度加熱する。
- トマトのヘタを下にして、オーブントースターで10分程度焼く。
- トマトの皮に焼き目がついたら、取り出して3の薬味だれをかけて完成。
*トマトの皮は焼くことで剥きやすくなります。
皮を剥いてからたれをかけても良いです。

♪ポイント♪

トマトは焼くことで甘みが増します。

薬味入りのたれをかけることでボリュームがあり、食べごたえのある副菜となります。

連携医紹介

東部医療センターは「地域医療支援病院」として、地域の「かかりつけ医」と連携・協力し、高度な治療・検査・入院・手術などの急性期医療を提供しています。



内科
循環器内科
小児科

いのまたクリニック
Inomata clinic



〒464-0819
名古屋市千種区四谷通1-13
ノア四ツ谷1F
電話 052-734-8788
院長 猪又 雅彦



いのまたクリニック

東部医療センターの皆様には勤務医時代からとてもお世話になっています。

いつもありがとうございます。

来院した際に少しでも笑顔になっていただけるクリニックを作りたいと考え、2017年に開院しました。

本山駅から徒歩1分で、駐車場もありますので、地下鉄でもお車でもアクセスしやすい立地です。

狭心症や心筋梗塞、心不全や不整脈など心臓病の経験を多く積んできました。

他にも高血圧症や脂質異常症などの生活習慣病や睡眠時無呼吸症候群の治療では特に役に立てると考えています。

引き続き、東部医療センターと連携をとらせていただき、関わる全ての人を笑顔にしていきます。今後ともよろしくお願ひいたします。

第2駐車場のご案内

新病棟建設工事による院内駐車場減少のため、第2駐車場をご用意しております。

また、平日は第2駐車場から病院までの無料送迎車両を運行しておりますので、あわせてご利用ください。(運行時間等の詳細は院内のご案内又はホームページをご覧ください。)



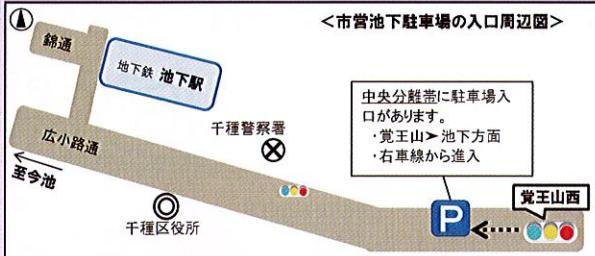
場 所 市営池下駐車場（千種区役所駐車場と同施設）

千種区覚王山通8-29-1 TEL:761-6270

利用時間 平日 午前7時～午後8時

料 金 無料（当院利用者に限る）

注意事項 ・「車高2.1m、車長5.3m、車幅1.9m」まで。
・駐車券の無料認証機は病院内にあります。



新任・退任医師紹介

新任医師

令和3年8月1日入職



救急科
松嶋 麻子



内分泌内科
高木 博史



脳神経外科
柴田 広海



心臓血管外科
沼田 幸英

退任医師

令和3年4月30日付

澤井 美里
(総合外科シニアレジデント)

令和3年6月30日付

安藤 雅樹
(救急科)

令和3年7月31日付

大石 龍矢
(脳神経外科)

発行者／名古屋市立大学医学部附属東部医療センター広報委員会

名古屋市千種区若水1-2-23

TEL 052-721-7171 <http://www.emc.med.nagoya-cu.ac.jp>

東部医療センター

検索

